

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年1月15日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2022年12月27日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	メンフィス大学(日本語名) University of Memphis(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年8月～2022年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:8月中旬～12月初旬 2学期:1月中旬～5月初旬 3学期:(5月初旬～末) 4学期:
学生数	22,205 (2020年度)
創立年	1912

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	3715ドル	520,100 円	*1ドル 140 円計算
食費	325(Tiger Eats)+約 930ドル	約 180,000 円	*1ドル 140 円計算
図書費		円	
学用品費	102.96ドル	14,414 円	教科書 3 冊
携帯・インターネット費	200ドル	約 28,000 円	
現地交通費		円	遠出する場合は友人の車に乗せてもらっていた (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	約 70ドル	約 10,000 円	
医療費	30ドル	約 4,200 円	ツベルクリン検査代
保険費	約 376ドル	52,705 円	形態:明大サポト海外旅行保険
渡航旅費	約 2500ドル	350,000 円	
ビザ申請費	160ドル	22,400 円	
雑費		円	
その他	1785ドル	約 250,000 円	旅行の飛行機代・宿代
その他		円	
合計	約 10,195ドル	約 143 万円	

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:羽田 目的地:メンフィス 経由地:シアトル、ミネアポリス	
復路 出発地:ロサンゼルス 目的地:成田 経由地:無	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:デルタ航空 料金:24万3000円	
復路 航空会社:シンガポール航空 料金:12万1400円	∴合計:36万4400円
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Trip.com)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Carpenter Complex) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
事前にアンケートで二択から選べたが、希望通りに行くかはわからないとのことで、実際希望していた寮ではない所に住むことになった。ただ、carpenter complex の中でもアパートタイプのもではなくタウンハウスというかなり大きめの場所に住めることになったのでよかった。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>入居した時点で部屋にあったのは、マットレス・筆筒・机・椅子、埃をかぶっていたり、虫の死骸が散乱していたり、綺麗とは言えなかった。掃除用具・枕・ヘッドシート・ブランケット・ハンガー・洗剤(洗濯用・食器用)・トレットペーパー・ゴミ箱など最初にかんりの物品を購入した。キッチンや水回りも同様にあまり綺麗ではなかった。風呂は温水がまともに出ないことが多く不便だった。冷蔵庫はあるが電子レンジは無く、その他調理器具も一から買いそろえる必要があった(包丁・まな板・フライパン・鍋・皿・など)。電子レンジは、ルームメイトが友人から譲り受けることができ最終的には使えたが、最初の二か月半くらいは電子レンジ無しで生活していたかなり不便だなと思った。</p> <p>冷暖房は十分に機能した。洗濯場にはいつでも使える洗濯機と乾燥機があった。共有スペース・自室ともに十分な広さがあった(壁は薄い)。家の玄関はオートロック、自室にも鍵がかけられる。</p>	

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

- なし
あり (治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
あり (問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

元々あまり治安のよい地域ではないので、夜遅くに出歩かないようにと注意されていた。大学近隣で事件が起きた時には大学から自警を促すメールが来た。悪天候による警報などのメールも来た。キャンパスのかなり近くで銃撃事件が起きた時には、大学および現地の友人から連絡が来て、ドア・窓を全て閉めフライトを下ろし、ドア・窓から極力離れるように言われた。授業中でキャンパス内に居た友人は、警戒態勢が解除されるまで教室内に留まるよう指示されていた。また、同じ寮の別棟で火災や麻薬などの騒ぎが起きることもあり、警戒しすぎることは無いと思った。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ソフバンクのアメリカ放題というプランを利用して、日本にいる時と差異なく使える状態にしていた。大学のWi-Fi、寮内のWi-Fiは問題なく使えた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にクレジットカードを使用していた(クレジットカードしか利用できない場所がかなり多い)。日本で両替して持って行った現金は、主に友人らと折半するのに使った。計3枚のカードを持って行ったが、最終的にすべて使えなくなるという事態が起きたので、現金/実体のあるカード/電子決済できる媒体など、選択肢が多いに越したことはない。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

薬

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:先着順	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Religion	宗教学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	2022 年 8~12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 55 分が 3 回
担当教授	Vivian Arendall
授業内容	先住民族の信仰、古代エジプトや古代ローマにおける信仰、キリスト教、仏教、ヒンドゥー教、ユダヤ教、イスラム教、新宗教、危険な新宗教運動などについて、それぞれの成り立ち・信仰となる対象・教訓・経典・創始者・儀式や祭典・分派・その宗教が抱える課題などについて詳しく学ぶ。
試験・課題など	<p>試験は中間、期末①、期末②の 3 つで、期末②は中間・期末①の試験範囲が含まれる総合問題。各宗教につき 1 つの復習クイズ(オンライン)があり、大体 1,2 週間に一つ課される。次の範囲に移る際の導入として、記述形式の課題がある(経典を読んでそれについて考えを述べる、Freddie Mercury とゾロアスター教の関係性について述べる、アニメと神道の関係性について述べるなど様々)。</p> <p>学習障害や身体障害がある人、語学能力に問題がある人など、配慮が必要な生徒に温かい対応をしてくださる先生なので、本来は対面の試験をオンラインに変更して下さり、試験時間の延長・ノートの持ち込みを許可していただいた。</p> <p>授業にちゃんと出席し、課題をきちんと出していれば、好成绩がもらえる&期末試験およびその周辺時期の課題が免除になる可能性が高い。</p>
感想を自由記入	<p>授業時間が短いので集中しやすかった。授業回数が多い分、課題も多い。</p> <p>キリスト教徒が比較的多い地域ゆえに、多少キリスト教についての説明が省かれることがあった為、授業後に質問した所、後日細かい解説をメールで送って下さったり、留学生 × 日本人であることを考慮して下さり授業で分からない事が無かったかよく気にかけて下さるなど、とても優しい先生だった。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Music in America	アメリカの音楽
科目設置学部・研究科	
履修期間	2022年8～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に55分が3回
担当教授	John Michael Shaw
授業内容	アメリカにおいて音楽がどのように発展していったか、年代順に学ぶ。(先住民やアフリカ系アメリカンの音楽、労働歌、オーケストラ、音楽学校、バラッドやブルースの成り立ち、著名なアメリカ出身の演奏家・作曲家などについて)
試験・課題など	1問4点×25問(100点)のテスト(オンライン)が、2章進むごとに課される。大体2,3週間にひとつ。教科書を読めばわかる簡単な問題で構成されている。
感想を自由記入	出席を取らない・宿題が無い先生なので、テストで成績が決まる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2022年8～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・たまにグループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Michele F Safa
授業内容	文化とは何か、人類学とは何か、フィールドワークのやり方、言語、経済、美しさとは、ジェンダーとセクシュアリティ、結婚、親族・家族とは、特権とは、宗教・信仰、文化の変化、文化人類学の応用、など
試験・課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・マークシート式の試験が全3回 ・次の範囲に入る前に教科書を一章(追加で別の文献や動画・映画があることも)読んでクイズ(オンライン)に答える。 ・不定期でライティング課題が出る。
感想を自由記入	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内で電子機器の使用禁止、パソコンも× ・個人的に試験は簡単だとは言えなかつたので、出席・その他の課題に尽力した。 ・先生自身がフィールドワークで行った先々の工芸品やアクセサリ等を実際に見せてくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Japanese Culture and Society	日本文化と社会
科目設置学部・研究科	
履修期間	2022年8～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Hironori Nishi
授業内容	毎授業冒頭に、生徒が日本文化・社会にまつわる動画(Youtube)を紹介しそれについてディスカッションする。日本文化・日本社会について、日本人の先生が教えている。礼儀やマナーの文化、食文化、言語、働き方、少子高齢化、ハーフ、法律、様々な事象をアメリカと比較して学べる授業。
試験・課題など	試験は無く、出席点とディスカッション用のプレゼン、その他レポートで評価される。
感想を自由記入	日本人の先生なので、なにかわからないことがあったときに聞きやすかった。先生が日本に居たところ(2,30年前)と私の世代の日本も変わっているところがあるので、アメリカとの対比のみでなく、昔と比べて日本がどう変わっているかも同時に学べたことが面白かった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTS、TOEFL の勉強
	10月～12月	選考、出願
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・取得、予防接種
	8月～9月	出発
	10月～12月	帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

あまり有名ではない地域(日本人が少ない環境に身を置けると思ったから)、かつ物価が安い地域としてメンフィスを選びました。ちょうど 2022 年 8-12 月はとくに円安がひどい時期で、1ドル 150 円までいった頃もあったほどなので、想像以上にお金がかかってしまい、今となっては地域の物価はあまり関係なかったように思います。またいつ物価が高騰したり円安が進むかわからないので、お金にはかなり余裕を持った方がよいかと思われます。日本人留学生も全体で 30 人近く、想像以上に多かったのもっと調べる必要があったなと思いました。同じ寮内にも私を含めて日本人が 4 人もいたので、いろいろな情報共有ができてありがたい反面、つい日本語を喋ってしまうことが多く、大きな反省点として記憶に残っています。

治安があまり良くはないというのは認識していたのですが、メンフィスに着いてから一か月の間で誘拐事件や銃撃事件が立て続けに起こったので、さすがに怖いなと思いましたし認識が甘かったなとも思いました。ただその一か月の過ぎた後はこれといった事件は起きなかったので幸いでしたが、やはり銃刀法のある国で育ってきた人間としてはかなり異常事態だと感じ恐怖を覚えたので、留学先を選ぶ際に治安というのは多少考えた方がいいのだろうなと思いました。また、電車やバスがたくさん通っている地域ではなく、どこに行くにも Uber か友人の車に乗せてもらわなければならない、観光する所もあまりないので、土日も休暇中もずっと家にこもっていました。治安の悪さから女一人で出歩かない方がいいと言われていた上に、電車やバスなど足が無いので、外出することはかなり少なかったですがこれは人次第だろうなとも思います(私は元から友達が少なく家にこもっている方が好きなタイプの人間なので)。

憧れたようなキラキラした留学生活にすることはできなかつたけれど、友達があんまりできないからといって、人とうまくしゃべれないからといって、英語が上達しなかつたからといって、留学が失敗したわけではないと思っています。たしかに人と話さなければ語学が上達するわけがないとも思うのですが、私にとって外交的になって多くの人と会話しようと試みることはかなりの苦行でしんどかつたので、その分ほかのなにかを頑張ろうと思い、勉強を頑張りました、自分では納得のいく成績が貰えたり、先生ともたくさんお話しできて授業内容外のこともたくさん教えてもらえたので、ちゃんと留学経験を自分の財産にすることができたなと思っています。何が言いたいかといいますと、留学先で思うようにいかないと思うことがあるのはごく自然なこととおそらく大多数の留学生に起きる事象だと思うので、周りの人や日本に居る友達に頼りまくっていいということと、その思うようにいかない中でもなにか頑張れるあるいは熱中できるなにかをみつけるといいということです。

たいした内容でもないのに長々と書いてしまつて大変申し訳ありませんが、なにかお力になれることがあればぜひご連絡ください!